



くも膜下出血から生還した神足裕司氏と
明子夫人の夫婦初共著!!
“つくる側”と“食べる側”、介護と食を
巡る泣き笑いコラム! 9月25日発売!

生きていく食事 神足裕司は甘いで目覚めた

2011年9月くも膜下出血で倒れた人気コラムニストの
神足裕司氏、復帰第3作。希代の食いしん坊コラムニスト
とその妻が3年にわたる介護の日々を食事をテーマに
書き下ろし!!

食事によって「薄紙を剥ぐように(妻の明子さん)」、
神足氏が目覚めてゆく様子を明子さんが解説。神足氏は、
そのときの胸の内を綴る一。くも膜

下出血からの復活の日々が、食事をテーマに“つくる側(妻)”と“食べる側(夫)”,
両面から語られる、世界に類を見ないコラム集の誕生です。

「口に運んでくれる妻や家族、わいわい言って食べる時間、病気の食事に添えられる
手紙などは、もう一度頑張ってみようかという気持ちにさせてくれるものすごい特効
薬なのだ。やっぱりもう少しこの世にいてみようかと思ったりする」(本書「刻み食に
添えられた手紙」より)

応援コラムには、テリー伊藤氏、堀江貴文氏、吉川晃司氏、小島慶子氏、えのきど
いちろう氏、高山文彦氏、えのきどいちろう氏ほか。

「やっぱり生きるってことは食べることなんだなあ」とは、明子さんの一文。まさに、「生きていく食事」。
元気をもらえるコラム集です。



■著者 PROFILE

神足裕司(こうたり・ゆうじ)

1957年広島県生まれ。コラムニスト。渡辺和博氏との共著『金魂巻(キンコンカン)』などベストセラーを含む著書多数。11年9月くも膜下出血で倒れたが復活。介護認定は5。復帰後の著作に『一度、死んでみましたが』『父と息子の大闘病日記』(長男・祐太郎さんとの共著)。

神足明子(こうたり・あきこ)

1959年東京都生まれ。森村学園専攻科卒。主婦の友社の編集者として学生だった神足氏と出会い、広告関係の仕事をしてきた85年に結婚。専業主婦となり1男1女をもうける。

この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社主婦の友インフォス情報社 編集担当 山本かずしげ k.yamamoto@st-infos.co.jp

TEL 03-3295-9465 FAX 03-3294-0228